

# 基礎講座ニュース

## 第1回 オリエンテーション・講座

日時 4月30日(木) 受講者 13名 考える会 9名

### ◎講座内容

「学童保育の目的・指導員の役割と職業倫理」

ねらい：学童保育のはじまりを学びます

学童保育の法的な根拠や目的、役割を学びます

指導員の役割と職業倫理を学びます。

### ★オリエンテーション

- ・年間計画
- ・受講にあたって
- ・振り返りシートについて
- ・自己紹介

学童保育は社会的に認知された公的な施設であり、指導員は専門職です。

- ・指導員の行動や言動は子どもや保護者に大きな影響を与えます
- ・「職業倫理」は指導員の行動や言動を「制御」するものではなく、指導員の仕事の「支え」となるもの
- ・保育前、保育中、保育後の打合せや引継ぎ、日々の保育記録を書き、共有すること

### ◎受講者からの振り返りシートより(一部抜粋)

- ・戦後わりとすぐに学童保育の前身が誕生していたことに驚きました。しかも法制化されるまでに半世紀かかっている。学童保育指導員に求められる専門性と「命を守る」という求められるレベルの高さに対して、「事業」に位置付けられていて基準が明確でない部分があるということの矛盾に違和感を感じずにいられません。
- ・日々子どもたちとの会話の中で、自身の趣味も役立っているのだと、自身に繋がりました（よく聴く音楽、アニメなど）し、それが子どもたちの会話術の成長にも繋がればいいなと思いました。
- ・色々な場面で、注意する時は、感情的にならずに相手が理解しやすいように伝えなければいけないと思います。
- ・学童保育の基本である「子どもの人権を守る」「安全・安心な生活を保障する」「生活を保障することを通して成長・発達を促す」「保護者とともに」という部分については今後、別講座において詳しく学べるということなので、今から楽しみと同時に責任の重さも改めて感じました。
- ・今回の講座の中で「指導員は専門職」という言葉の重みを感じさせられました。そして「指導員歴、正規、パートの違いはあっても、子ども達の前では平等です」という当たり前といえば当たりの事を改めて、気付かされました。
- ・子ども自身の気持ちや考えを大切にすることや、自分で決めることの大切さ、差別やご褒美についての話など、普段の関わりの中でも意識していく必要がある
- ・一人ひとりの子どもたちに毎日関わり合っていくことは現実的には難しいことがと思いますが、記録やメモを残しておくことで、他の指導員さんにも子どもの様子が共有できたり、逆に他の指導員さんの記録を見ることで、関われなかった子の様子も知ることができる。

次回は、5月28(木)に行われた、第2回の講座について、お伝えします。